

会 議 録

会 議 名	平成 30 年度第 1 回 辰野町図書館協議会
開 催 日 時	平成 30 年 10 月 18 日 (木) 午前 9 時 30 分～11 時
場 所	辰野町立辰野図書館 2 階会議室
出 席 者	委員 6 名中 5 名 (有賀委員欠席)、事務局 2 名
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会のことば 2. 委嘱状交付 3. 教育長あいさつ 4. 自己紹介 5. 会長選出 6. 協議事項 (進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成 30 年度窓改修工事について 2) 平成 30 年度図書館事業運営および図書館まつりについて 3) 平成 31 年度予算要求について 4) その他 7. 閉会のことば
会 議 結 果	<ol style="list-style-type: none"> 2. 委嘱状交付 4 名 (川島委員、中谷委員、沖山委員、宮澤委員) 5. 会長選出 互選により川島弘さんを選出 6. 協議事項 (進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成 30 年度窓改修工事について 事務局から説明し、質疑を経てご了承いただく。 2) 平成 30 年度図書館事業運営および図書館まつりについて 事務局から説明し、質疑を経てご了承いただく。 3) 平成 31 年度予算要求について 事務局から説明し、質疑を経てご了承いただく。 4) その他 図書選定について リクエストの現状などについて、事務局より説明し、新年度に向けた対応をご協議いただく。 閉会后、窓改修工事該当箇所 (会議室、郷土資料室、中間教室) をご覧いただいて散会した。
発 言 者	発言の内容
会 長	<p>冒頭に教育長が用意して下さった資料からは、子どもたちの、放課後や休日の過ごし方や、読書量のことなど、気がかりな部分は多い。</p> <p>中学校の部活も、ブラック部活とよばれる学校もあり、今注視している。子どもをめぐる情勢は、大きく変わってきている。その中で、家族のつながり、読書のことなど、図書館が果たす役割はいろいろあると思われるので、協議を深めていけたらいいと思う。</p> <p>事務局から、一通り説明をいただいたが、まず、1) 平成 30 年度窓改修工事についてご質問などあったらお出しいただきたい。</p>
D	<p>東側の窓は、デザインとしては素晴らしいが、あとあとのメンテナンスはかなり大変だろう。</p> <p>公共施設の設備としては、利用者の安全や維持管理の観点が必要だと思う。</p>

教 育 長	図書館が建設された当時は、小中学校にも同じような窓が使われた。ドイツの製品で、頑丈なことやデザインなど、機能の上からは優れているが、子どもが割ってしまうと修理ができないなど、維持管理の上から難点が多いのも事実だ。
A	全ての改修には、時間も経費も必要だが、現状では、学習室など利用者に関わりのある箇所に、注意喚起を促す貼り紙をするなどの対応をしてほしい。 また、開閉の際には職員も十分気を付けて操作していただきたい。
会 長	2)平成30年度図書館事業運営のうち、蔵書点検、サマーライブラリーについてご質問を含めご協議いただきたい。
A	蔵書点検結果を見ると、不明本が大変少ないという印象だ。今後も同様に蔵書管理をしながら、蔵書点検を行っていただくということでいいのではないだろうか。
事 務 局	サマーライブラリーについて、今年は、学校の夏休みより一日短かった。夏休み最終日が図書館休館日の月曜日となった学校もあり、その日に来館した生徒がかなり多かったようだ。来年は、学務の係と打ち合わせて、きちんと夏休み期間に合わせたいと考えている。
D	新聞報道では、夏休みを長くする方向性が検討されているようだが、長くなると親が困る面も出てくるだろう。
教 育 長	伊那中学校では、モデル校として、今年は7月27日～8月26日までの31日間、夏休みを実施した。登校日数は205日以下だろうと思われる。 授業日数の点からいえば、1週間程度の余裕がないと、災害やインフルエンザの流行などに見舞われた場合に運営が立ち行かなくなってくる。夏休みを長くした場合、長野県は高校入試との絡みで3月20日前に行われている中学校の卒業式のあと、1、2年生の登校日を設けて授業日数を確保するなどの対応が必要だろう。 また、学校の夏休みを長くすることで、例えば学童保育での対応など、あちこちに影響が出てくる。 辰野町内の各学校も、様々な影響などを考慮しながら検討をしているところだ。
会 長	学校サイドと連絡をとりながら対応をしていただきたい。 2)のうち図書館まつりについて、ご質問を含めご協議いただきたい。
事 務 局	11月3日の藤森俊希さんの講演会は、議会と共催で行う。当日は、議長と教育長にご挨拶をいただき、協議会会長の川島さんに進行していただきたいが、そのような進め方でよろしいかどうか。
教 育 長	議員の皆さんも、大いに聴講したいという雰囲気があった。当日は、委員の皆さんのご協力をいただいて、成功となれば嬉しい。
D	事前に申し込みをして整理券を受け取るという手続きがやや煩雑な嫌いがある。当日直接聴講に行くという形の方が、一般には馴染むのではないか。
E	11月3日という日程についても、町民会館で音楽祭が開催される。これは規模の大きい会で、自分に関しては、子どもは学校のクラブ活動で参加するし、親も器楽サークルで参加する。 いい内容の講演会だとは思いますが、参加できないという人も多いのではないか。
事 務 局	日程については、図書館まつりの11/3,4のうち講師の藤森さんのご都合がいいのが3日の午前中だけだったため、この日の設定となった。 また、事前申し込みについては、会場が手狭だということと、図書館まつり初日は開館時間の10時前から入館を待つ人が例年30名ほどいることなどから、スムーズに入場していただくためにこのような形をとらせていただいた。 事前申し込みがなくとも、会場に余裕があれば聴講は可能だ。 当日は先ほどお話しした形で進めていきたいので、皆様のご協力をお願いしたい。

A	<p>2月に藤森さんのお話をお聞きしたが貴重なお話だった。原爆体験者の中で自分が一番若いとおっしゃっていた。こういう話しは大人だけでなく、子どもたちにも聞いてほしい話だと思っている。</p> <p>11/25の遠野の昔がたりについて、大人向けに限定したのはどういう理由だろうか。昔話の語りであれば子どもたちにも聞かせたいと思うのだが。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、昔話そのものは、祖父母や親が子どもに語ってきたものなので、子どもが対象となる。</p> <p>ただ、遠野生まれの遠野育ちの方の、遠野の言葉で語られる昔話は、正直、子どもにはわからない。また、講師ご本人から大人対象でというお申し出もあった。</p> <p>講師の大平さんは、事前に解説をしたり、資料を提示したりして理解を促しながら語ってくださるが、大人対象とはいえ、当日は、語りのリズムや遠野の言葉を楽しむという雰囲気になるだろうと考えている。</p>
A	<p>かなり以前のことになるが、鈴木サツさんの語りを直にお聞きしたことがある。今から楽しみにしている。</p>
会長	<p>3) 平成31年度予算要求についてご質問を含めご協議いただきたい。</p>
事務局	<p>資料の実施計画にはまだ載せていないが、2022年には、開館100周年、新築移転40周年の節目を迎える。委員の皆様からも、催しや改修などについて様々にご提案をいただければありがたい。</p>
会長	<p>節目を迎えるにあたって、記念行事や改修を進めていきたい。議会サイドからのバックアップもぜひお願いしたい。</p> <p>4) その他図書選定について、リクエストの現状など事務局より説明があったが、ご質問などお出しいただきたい。</p>
B	<p>以前、大阪にいたことがある。20年ほど前になるかと思うが、当時は市民がもっと成熟していたのではないか。たとえば、底辺校といわれる学校には、子どもの学力や貧困など親身に受け止め頑張る教員の姿があった。</p> <p>冒頭の教育長のお話にあったが、教員の給料などに子どもの学力を反映させるというような考え方の表面化など、最近の教育への認識にわが目を疑う。教員の志望者も減少しているというし、教員数が定員に満たない状況で学校運営をしている実情も見聞きしている。</p> <p>子どもの学校の保護者会の席上“〇〇人が多いからあの辺りは物騒だ”と発言する人がいて、思わず“〇〇人だから、というのは差別につながるのでは”と反論したところ、“そういうことを言うのはもっと年上の人だし、そういうのは政治的な発言だよ”と言われてしまった。</p> <p>その人たちは、全国紙というものを読まないのだろうか。情報をどこから得ているのかと思う。ネトウヨ的な考え方の蔓延、書店に平積みされる“ヘイト本”や政権礼賛の書籍や雑誌、こういった現状を目の当たりにして、どう対応していけばいいのかと考える。差別への意識が鈍っているのではないだろうか。</p> <p>ヘイトにつながるリクエストの傾向を食い止めることができないのだろうか。</p>
事務局	<p>実は、ヘイト本やそれに類する資料のリクエストの増加は、辰野図書館だけではない。上伊那の図書館の司書とも、対応について悩みを打ち明け合うことがある。それはここ2年ほどの傾向だ。</p>
A	<p>今新聞を購読しない家庭が増えていると聞く。ネットから情報を得られるとはいっても、トピックや見出しの部分のみではないだろうか。テレビ番組も、報道番組は別にして大方の局ではタレントがMCを務め、コメンテーターと言われる人たちが表面的な発言を繰り返している。そういうところから切り取ったものを自分の考</p>

	<p>えとしがちなのではないだろうか。</p> <p>もう少し深く自分の頭で考え自分の目でみることをしなければならない。</p> <p>そのために図書館や読書といった行為が果たす役割は大きいと思う。</p>
B	<p>実際の対応はどのようにしているのか。</p>
事務局	<p>図書館は、特定の考えなどを排除することはできないので、バランスよく所蔵することが求められる。しかし、図書資料の分かち合いすなわちブックシェアの精神とは馴染まないものや、考え方の違う立場の人たちをこき下ろすだけといった内容の書籍については所蔵がためらわれる。</p> <p>そういう資料については、まず、県内公共図書館の所蔵状況を確認して購入の判断をしている。</p> <p>購入しないと決めたものについては、公共図書館間の相互貸借を利用するようにしている。</p>
D	<p>リクエストされた本はすべて購入しているのか。</p>
事務局	<p>上半期では、リクエストされた資料のうち約半数の110冊は購入し、残り半数は相互貸借システムを活用して利用者に提供した。</p>
A	<p>出版社は売れる本を出す。出版社生き残りのための販売戦略というものもあろうが、それに絡み取られないようにしていかないといけないのではないか。</p> <p>あわせてリクエスト冊数の制限や、選定基準の明確化なども、新年度にむけて具体化して行ってほしい。</p>
会長	<p>全体を通してご意見などなければこれで閉会としたい。熱心にご協議いただきありがとうございました。</p>